



設置完了 チェックシート

◆設置完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください ◆

確認日	年 月 日
確認者	

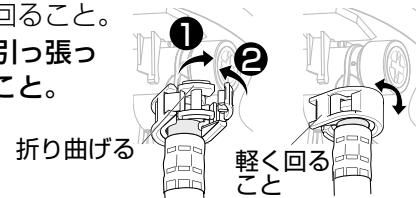
1□から7□を

チェック

1

1 クイックファスナーを正しく取り付けていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- 給水ホースを引っ張つても抜けないこと。



※クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。
再度、取り付け手順に従ってください。

2

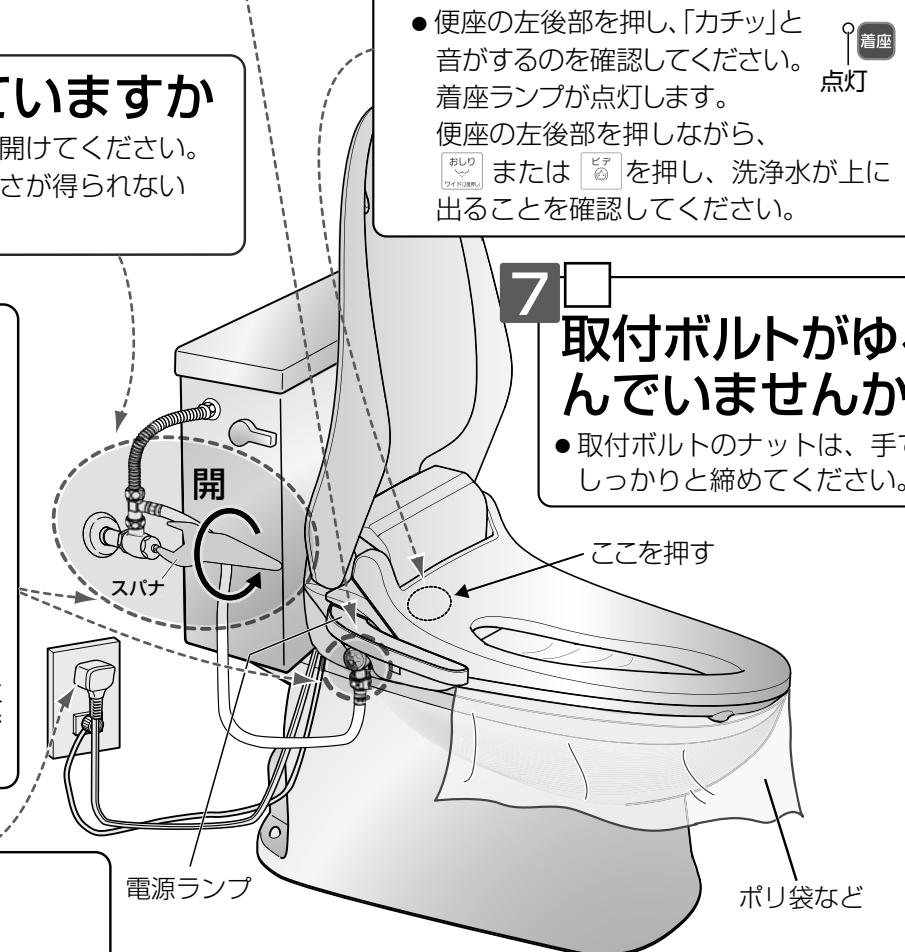
2 止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いてないと洗浄強さが得られないことがあります。

3

3 水漏れしていませんか

- 水漏れないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。
※設置後および水抜き後の初回運転のみノズルの左（逃がし水口）から出る水は、水圧調整の逃がし水で故障ではありません。



4

4 電源は入っていますか

- 電源ランプは点灯していますか。

お願い ●試運転は、必ず行ってください。 (18ページ)

配管方法などはイラストと異なる場合があります。

◎日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

〒105-8413 東京都港区西新橋2-15-12

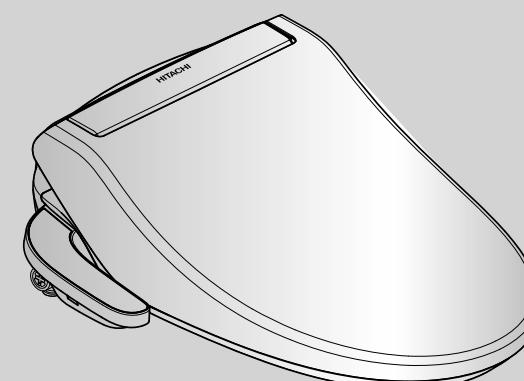
設置工事説明書

HITACHI
Inspire the Next
家庭用

日立温水洗浄便座

エッチ オー ビー 5 1 0 0
型式 HOB-5100

目次



準備	■安全上のご注意 2
	■設置の前に 3
	■各部の名前と同梱部品の確認 4
設置	■設置工事の流れ 6
	■止水栓を閉める 8
	止水栓がある場合 止水栓がない場合 8
	■分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける 9
	初めて温水洗浄便座を取り付ける場合 9
	既設の温水洗浄便座から取り替える場合 10
取付	■本体を取り付ける 12
	■給水ホースを取り付ける 13
	■アース線の接続 14
	■止水栓を開ける 14
	■クッションを取り付ける 14
	■リモコンを取り付け、電源を入れる 15
	■人体センサーを取り付ける 16
試運転	■試運転 18
確認	■こんなときは 19
	■設置完了チェックシート 裏表紙

- 安全な工事をするために、この設置工事説明書に基づいて設置してください。
工事終了後は、取扱説明書、保証書とともに大切に保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。



安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお読みいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、過った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください

！警告	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
！注意	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- この記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。
- この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は一般的な禁止)が描かれています。
- この記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は一般的な強制)が描かれています。

！警告

 **D種接地工事を行う**
アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因。

！電源プラグは根元まで確実に差し込む
差しこみが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない。
設置工事は、設置工事説明書に従って確実に行う
説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因。

設置工事は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する
指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因。

電気工事は、内線規程に従つて施工する
内線規程に従わないと、火災、感電の原因。

定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因。

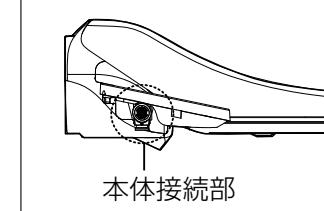
コンセントのアース端子にアース線を取り付ける
アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因。

！注意

 **電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない**
傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因。
移動や設置時、本体を持つ
便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因。

上水道以外には接続しない
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因。
腐食や異物付着による水漏れの原因。
電池は誤った使い方をしない
• (+)と(-)を入れない
• 新・旧電池や違う種類の電池と一緒に使わない
• 被覆のはがれた電池は使わない
液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因。



電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない

傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因。
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因。

上水道以外には接続しない
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因。
腐食や異物付着による水漏れの原因。

電池は誤った使い方をしない

- (+)と(-)を入れない
 - 新・旧電池や違う種類の電池と一緒に使わない
 - 被覆のはがれた電池は使わない
- 液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因。



水場使用禁止
バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない
感電や火災の原因。

設置の前に

お願い

- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから設置する。
- 必ず同梱の分岐金具をご使用ください。**
- 既設の温水洗浄便座から取り替える場合は、既設の人体センサーやリモコンは必ず取り外してください。(干渉して誤動作します)
- この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがありますか、故障ではありません。**
- 使用水圧範囲は49~735 kPa、{0.5~7.5 kgf/cm²} です。
- 便器の種類によっては、便座脚ゴムが便器の上に載らず、がたつく場合があります。販売店にご相談ください。

お知らせ

■給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは300 mmです。

フレキシブルパイプは切断しないでください。

右図のA寸法が、約150~330 mmの場合は、取り付けできます。

上記以外で②③の場合は、部材購入が必要です。

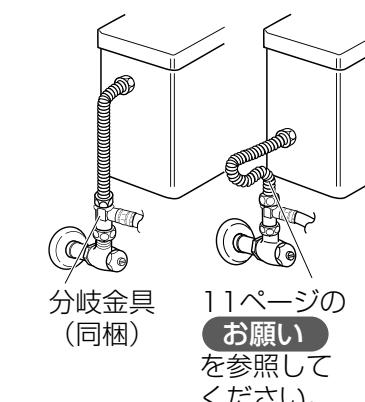
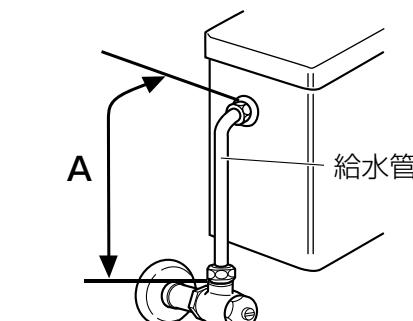
同梱のフレキシブルパイプ(給水管)

300 mm

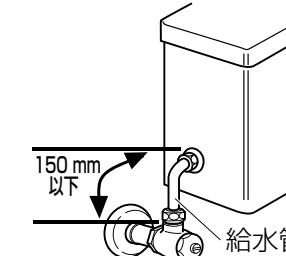
口径: G1/2

- ①A寸法が約150~330 mm ②A寸法が約150~330 mm ③給水管が短い場合または外れない場合

以外の場合
ホームセンターなどで市販品を購入してください。



分岐金具
(同梱)
11ページの
お願い
を参照して
ください。



150 mm
以下
給水管

■リモコン、人体センサー取付位置の確認

リモコン、人体センサーを取り付ける位置は、15~17ページを参照してください。

■ご準備いただくもの



メジャー



プラス
ドライバー



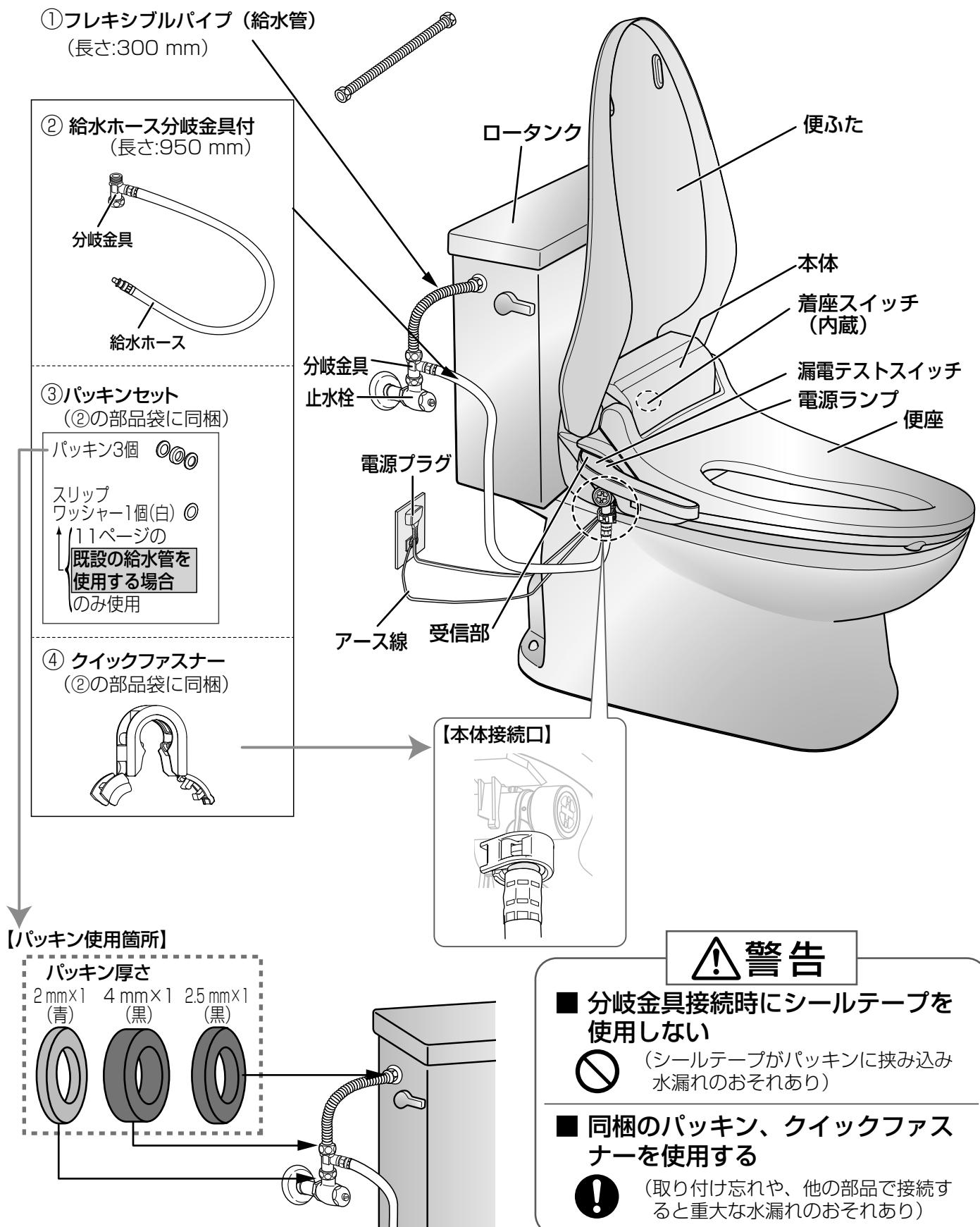
モンキー
レンチ



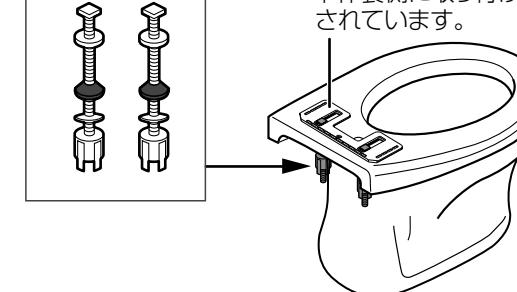
バケツ・ぞうきん

各部の名前と同梱部品の確認

設置方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。

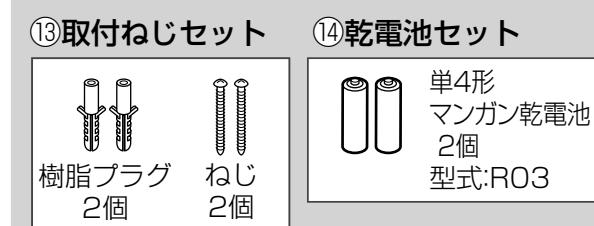
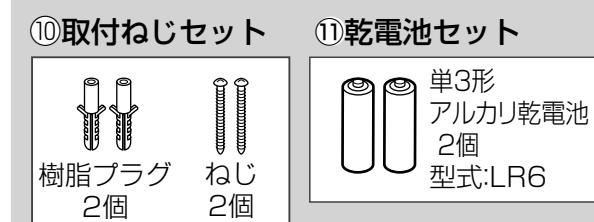
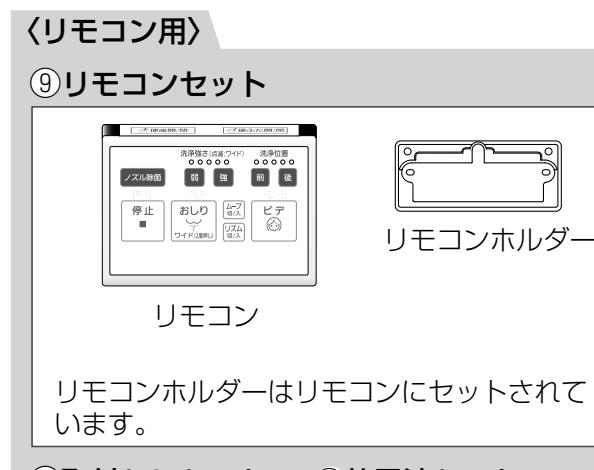


- ⑤ 取付ボルトセット
本体固定板 (12ページ)
・本体裏側に取り付けされています。
- ⑥ 説明書セット (取扱説明書・設置工事説明書)
- ⑦ スパナ
- ⑧ クッション (⑫の部品袋に同梱)



【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。 チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	フレキシブルパイプ(給水管)	1	<input type="checkbox"/>
②	給水ホース分岐金具付	1	<input type="checkbox"/>
③	パッキンセット (パッキン薄い黒2.5mm厚さ×1 パッキン青2mm厚さ×1 パッキン厚い黒4mm厚さ×1 スリップワッシャー(白)×1)	1	<input type="checkbox"/> (②の部品袋に同梱)
④	クイックファスナー	1	<input type="checkbox"/> (②の部品袋に同梱)
⑤	取付ボルトセット	1	<input type="checkbox"/>
⑥	説明書セット (取扱説明書・設置工事説明書)	1	<input type="checkbox"/>
⑦	スパナ	1	<input type="checkbox"/>
⑧	クッション (⑫の部品袋に同梱)	1	<input type="checkbox"/>

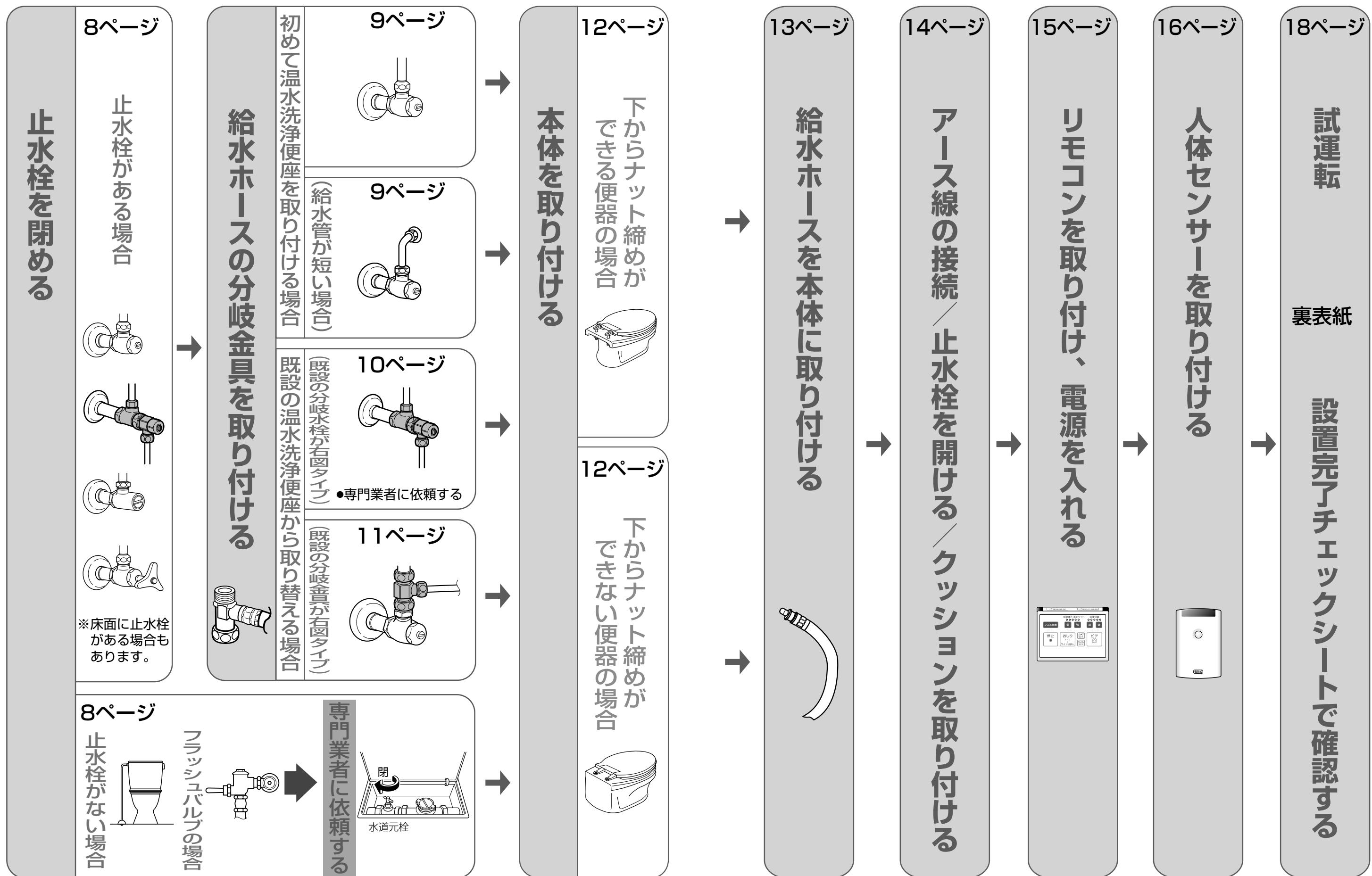


リモコン用	⑨ リモコンセット (リモコン リモコンホルダー)	1	<input type="checkbox"/>
⑩ 取付ねじセット	1	<input type="checkbox"/>	
⑪ 乾電池セット(単3形アルカリ乾電池)	1	<input type="checkbox"/>	

人体センサー用	⑫ 人体センサーセット (人体センサー センサーホルダー 両面テape)	1	<input type="checkbox"/>
⑬ 取付ねじセット	1	<input type="checkbox"/>	
⑭ 乾電池セット(単4形マンガン乾電池)	1	<input type="checkbox"/>	

お知らせ	● 操作音について 各スイッチを押すと、本体より操作音が「ピッ」と音がします。ただし、停止スイッチ、各スイッチの「切」設定時の操作音は「ピー」、操作を受け付けないときは「ピピピ」と音がします。
------	---

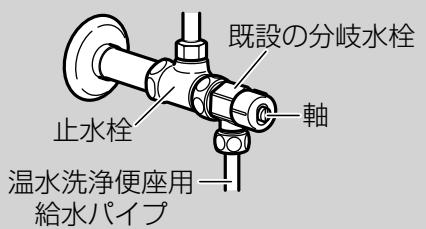
設置工事の流れ



分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

●分岐水栓がタイプⒶの場合は、止水栓を元に戻す必要があります。専門業者に依頼してください。

既設の分岐水栓が下図のタイプⒶ



【準備】水道の元栓を閉める

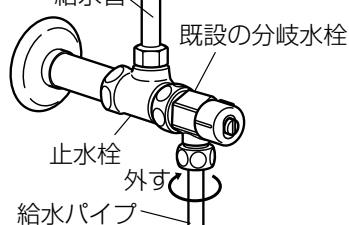
- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。
- 本体取り付け完了後、全開にしてください。



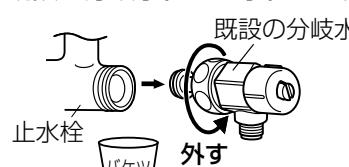
★は、同梱部品です。

止水栓を元に戻す場合

① 給水パイプを外す

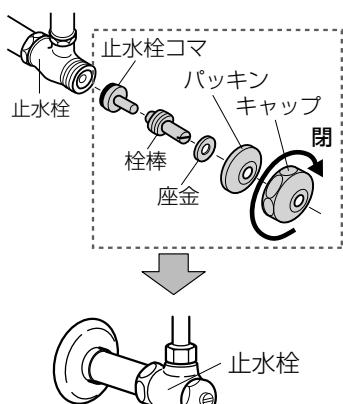


② 既設の分岐水栓を止水栓から外す

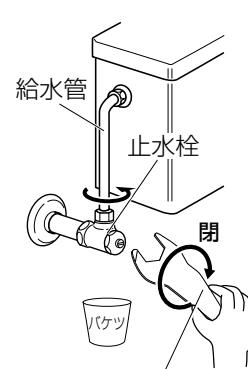


●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けしてください。

③ 止水栓を元にもどす

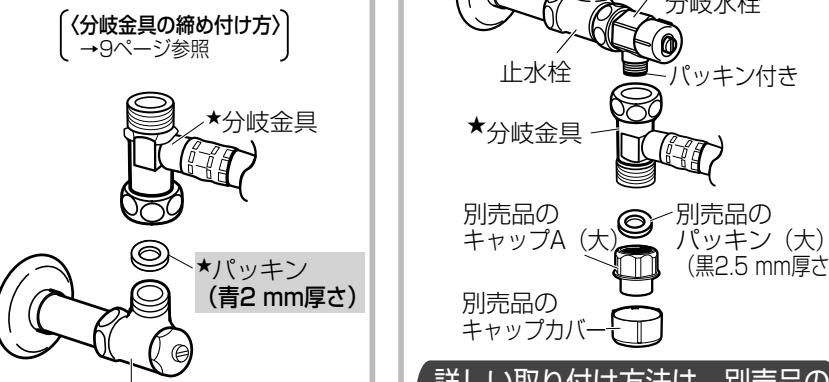


④ 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す



●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けしてください。

⑤ 分岐金具を止水栓に取り付ける



詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

止水栓を元に戻せない場合

(外ねじタイプの止水栓の場合は取り付け可能)

別売分岐水栓・キャップセットを購入いただき、取り付けができます。

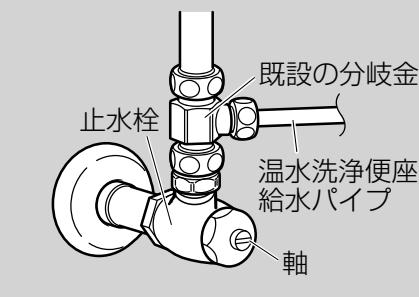
〈別売品〉
分岐水栓・キャップセット
(型式: HOB-DL531AB4JS)



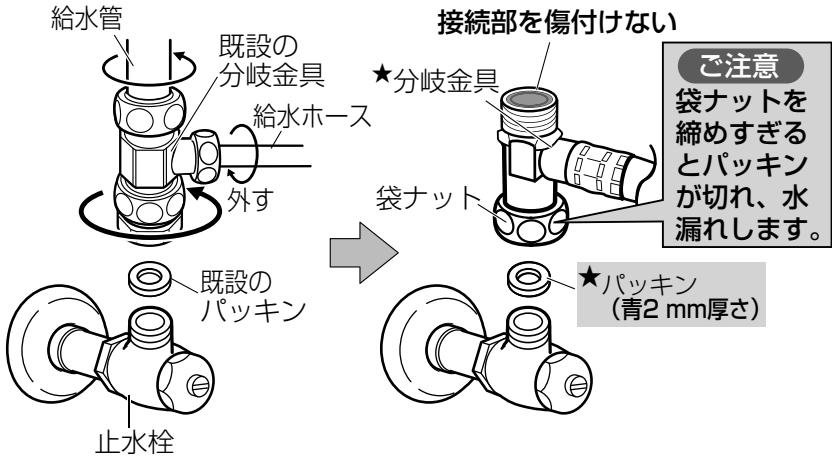
① 別売品の分岐水栓を取り付ける

② 本体同梱の分岐金具を取り付ける

既設の分岐金具が下図のタイプⒷ



1 給水管を外してから、同梱の分岐金具に交換する 〔分岐金具の締め付け方〕→9ページ参照〕



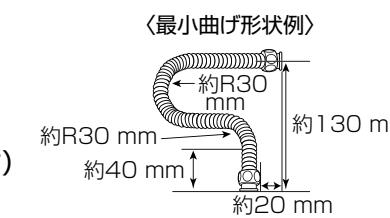
2 給水管の取り付け

- 既に給水管がフレキシブルパイプや給水ホースで接続されている場合は、そのまま使用できます。

同梱のフレキシブルパイプを使用する場合

同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。

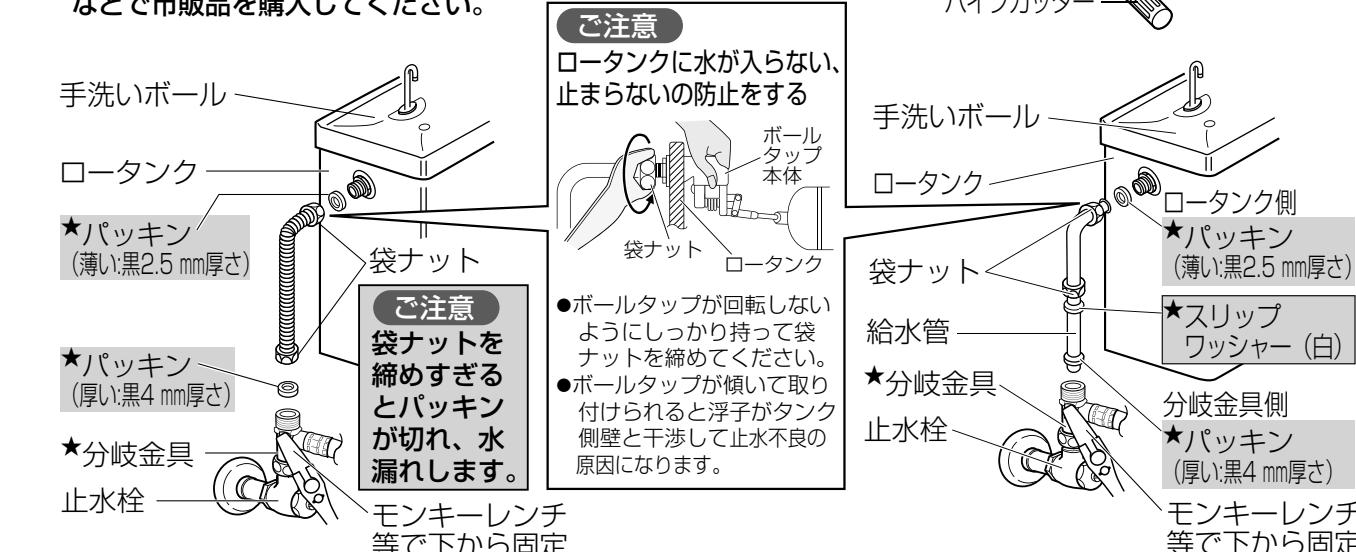
口径: G1/2



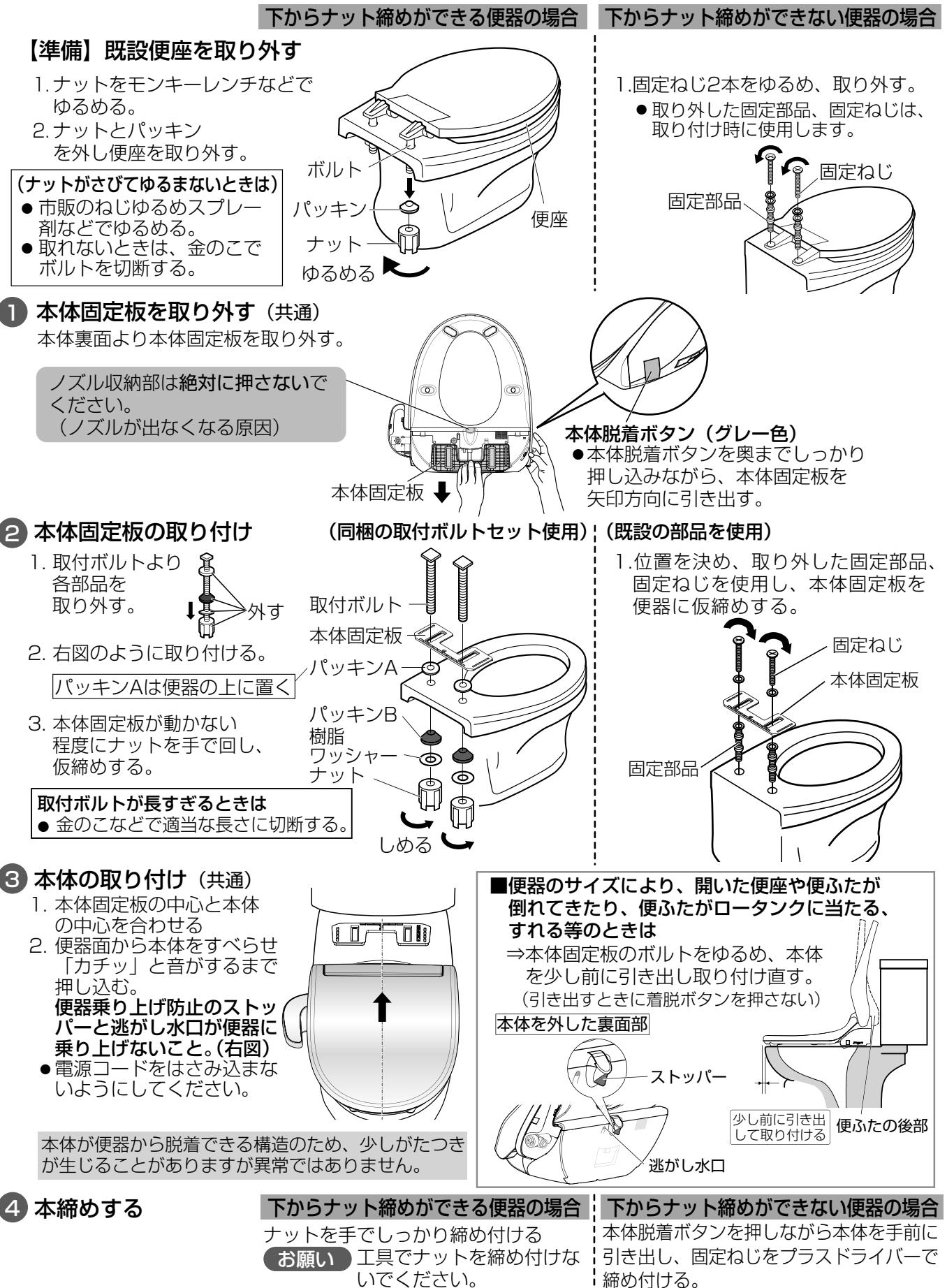
お願い

フレキシブルパイプは

- 曲げ過ぎない
- 何度も曲げ直さない
(折れことがあります)
- 切斷しない
- 長さが合わないときは、ホームセンターなどで市販品を購入してください。



本体を取り付ける



給水ホースを取り付ける

重要: 給水ホースを正しく取り付けないと重大な水漏れの原因

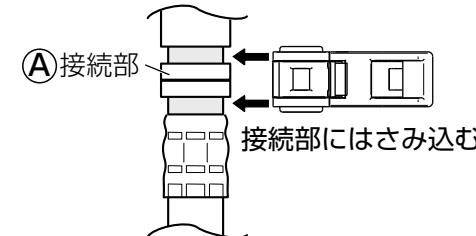
① 本体への接続(作業がやりにくい場合は、本体を手前に引き出す [12ページ])

- 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口にまっすぐ差し込む。

ご注意 給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。

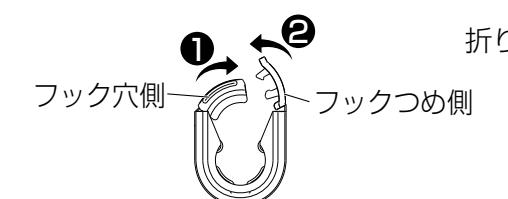
お願い 既設の給水ホースは使用しないでください。(劣化により水漏れの原因)

- クイックファスナーを給水ホースと本体接続部に確実に奥まで差し込む。
(「パチッ」と音がするまで差し込む)



- フックを確実に固定する

- 1 フック穴側を折り曲げる
- 2 フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する
(「パチッ」と音がするまで固定する)



- 給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。

※軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けされていません。

お知らせ

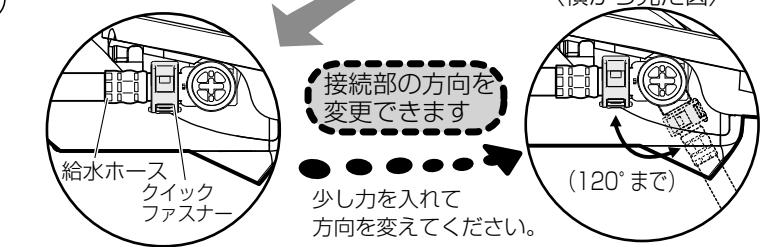
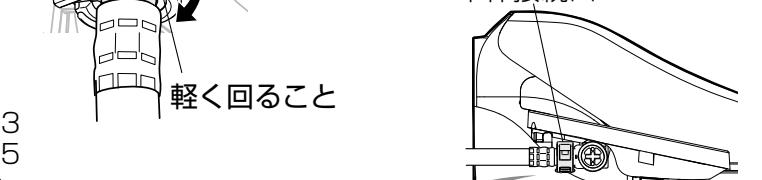
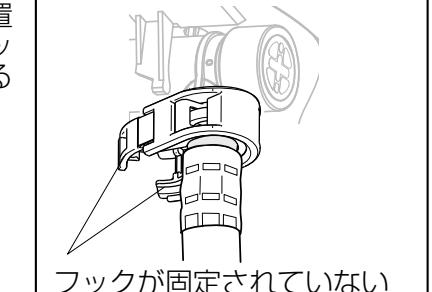
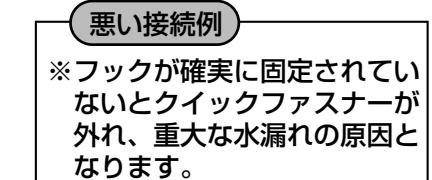
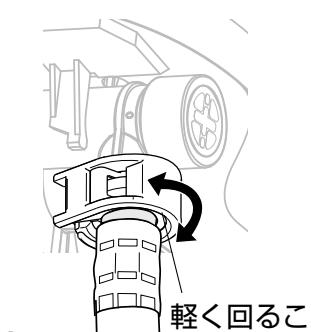
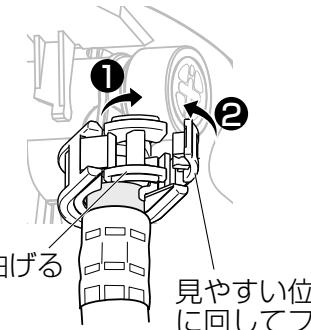
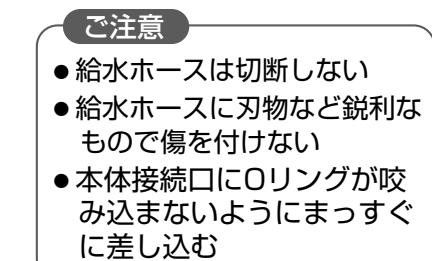
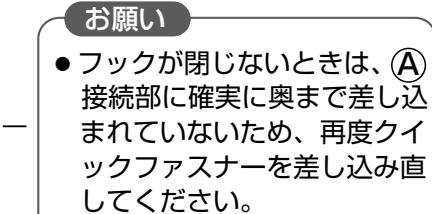
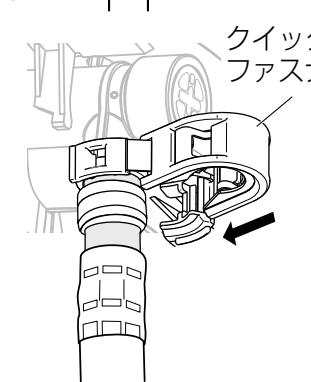
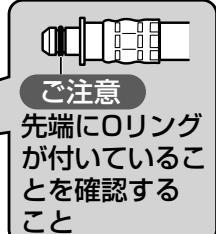
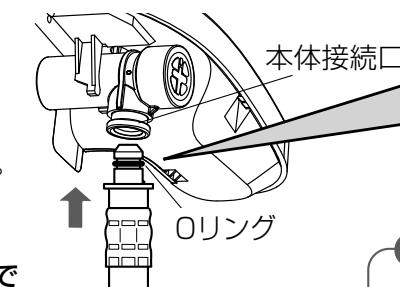
給水ホースが短い場合は、別売品を販売店でご購入してください。

1350 mm用 型式: HOB-DL531-13
2500 mm用 型式: HOB-DL531-25

別売品は、給水ホースと分岐金具が別々になっています。分岐金具側もクイックファスナーで接続してください。

② 必ず確認

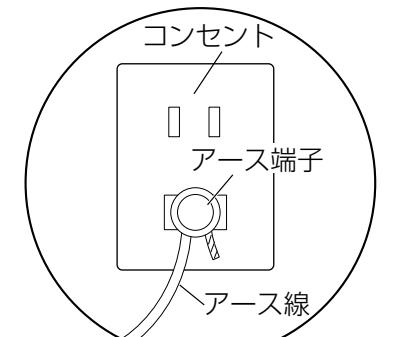
- クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。
- 給水ホースを引っ張って、本体接続口から抜けないことを確認してください。



アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

(アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください)



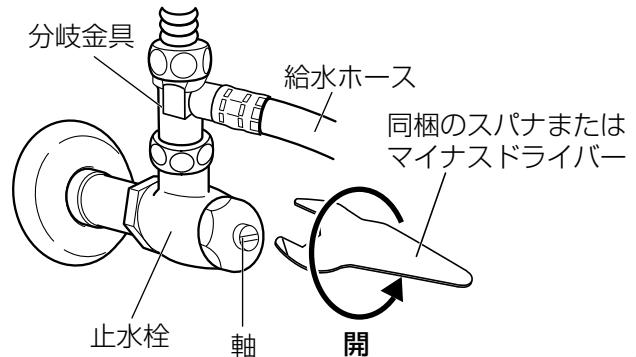
上図はアース付きコンセントの一例です。

止水栓を開ける

各接続部が確実に接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は十分に開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度にまたは、洗浄中の通水音が気にならない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。

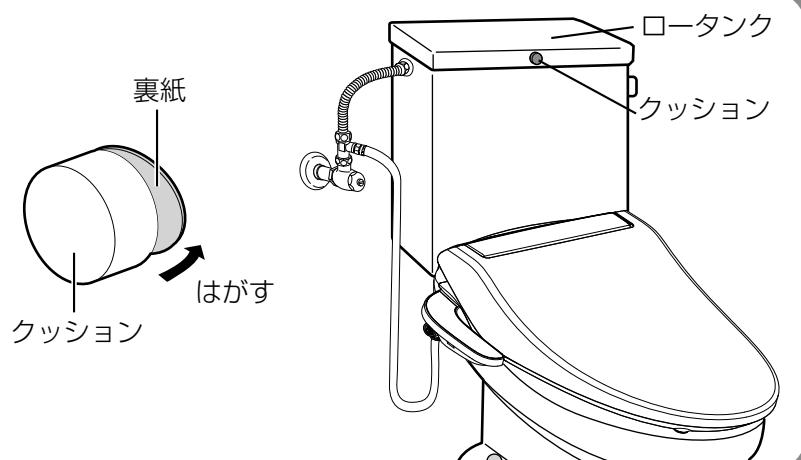
十分に開いていないと低流量異常
(温水ランプが全点滅) が発生する場合があります。



クッションを取り付ける

便ふたがロータンクに強く当たる場合は同梱のクッションを右図を参考に貼り付けてください。

- 貼る前に、汚れ、水分などを拭き取ってから貼り付けてください。

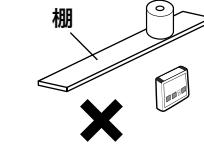


リモコンを取り付け、電源を入れる

- 本体の受信部側の壁などに取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。
- リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していることを確認してください。



リモコンと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。



① リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる

■乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【2ページ】を必ずお守りください。

② 電源プラグを差し込み、リモコンと本体の送受信確認をする

① 電源プラグを差し込む

- 本体の電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する。

② リモコンを壁面の取り付けたい位置に合わせ、約10分以内におしりまたはビデスイッチを押す

- 本体の電源ランプが1回点滅と同時に本体から「ピピピ」と音がします。
(ただし、着座スイッチが検知している場合は「ピッ」と音がします)

送受信可能な位置です。

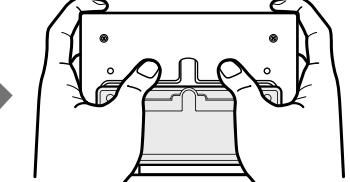
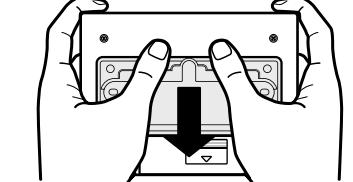
◆電源ランプが1回点滅しない場合は、電源プラグを差し込み直して取り付け位置を変更してから再度、送受信確認をしてください。

③ リモコン（リモコンホルダー）を壁面に取り付ける

① リモコンからホルダーを外す

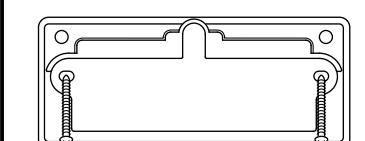
- ホルダー上を指で押さえながら下方向にずらして外す。

② ホルダーを壁面にねじで取り付ける



A.ねじ止めできる壁材

- 各種合板
- ビニールクロスなど



- ねじ2本で壁面に取り付ける

B.ねじ止めできない壁材

- タイル・コンクリート
- 石こうボードなど
「注意」※1

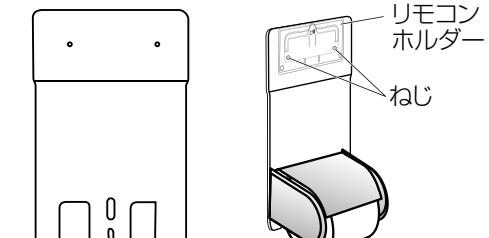


- ねじ2本で壁面に取り付ける

ねじ止めできない場合

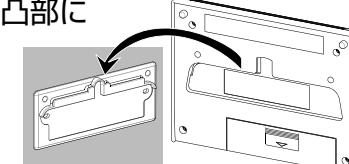
別売品のリモコンプレートでペーパーホルダーに取り付けできます。
販売店でご購入してください。
ただし、2連式のペーパーホルダーには取り付けできません。

別売品リモコンプレート
型式：HOB-DLRCP1-F



詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

④ リモコンが取り外せることを確認する (電池交換が必要なため)



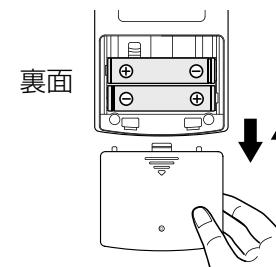
人体センサーを取り付ける

■トイレのパターンに合った位置に取り付ける(トイレの扉と便器の位置関係により異なります)

- ・人体センサーは人(発熱体)の動きを検知し、便ふたの開閉を自動で行います。

① 人体センサーの電池ふたを開け、乾電池を入れる

■乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【2ページ】を必ずお守りください。



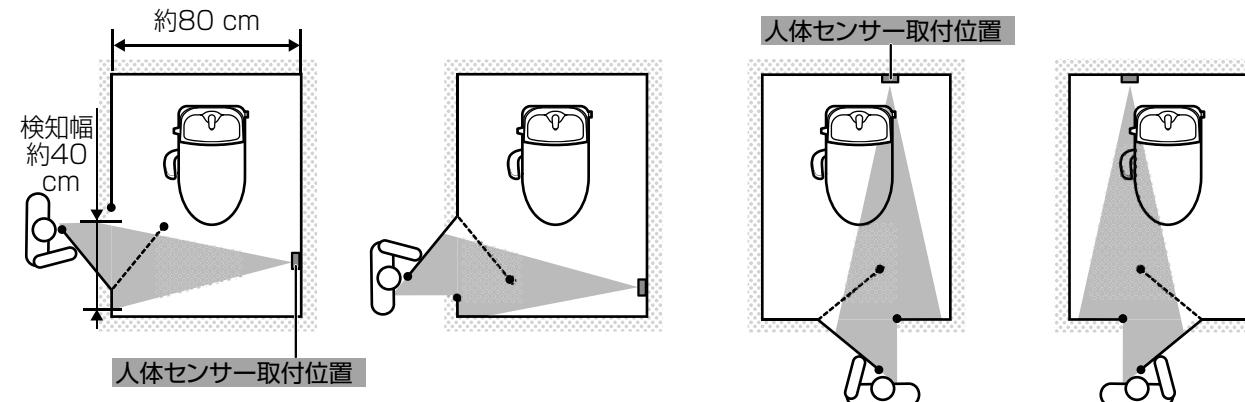
② 取付位置を選ぶ(下図参照)

<トイレのパターン別、取付位置例>

- ・人体センサーを正しく作動させるために、トイレ内に入った時、人を確実に検知する位置に取り付けてください。人体センサーが人を検知すると本体から「ピッ」という受付音がします。
- ・人体センサーと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。
- ・人体センサーを便座の方向に向けて取り付けると誤作動する場合があります。

扉の対向面の壁に取り付けてください。(扉が引き戸の場合も同様)

- ・トイレの幅が約80 cmの場合、人体センサーの検知幅は約40 cmになります。

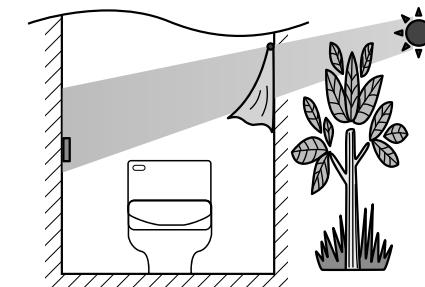
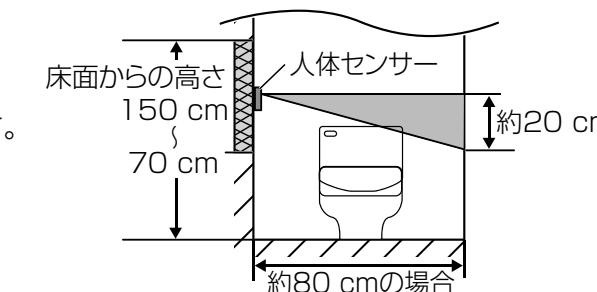


<取り付け高さ>(どのパターンでも共通です)

XXXXXX 取り付けるのに適した範囲です。

■ 人体センサーの検知範囲の目安です。

- ・ご使用になる方の身長に合わせて、取り付け高さを決めてください。



ご注意

次のような場所に取り付けるのは避けてください。

- ・直射日光の当たるところに取り付けた場合、カーテンや窓の外の木々の揺れで、直射日光がさえぎられると、誤作動することがあります。
- ・トイレで暖房器具などを使用すると、人体センサーが温風の熱を検知して誤作動することがあります。

お知らせ

- ・人体センサーが人を検知すると、便座の暖房を開始します。室温が30 °Cを超えたとき直射日光が当たったときに作動しないことがあります。(人と周囲の温度差が少ないときは、熱の変化を検知しにくいため)

③ 人体センサーと本体の送受信確認をする(位置決め)

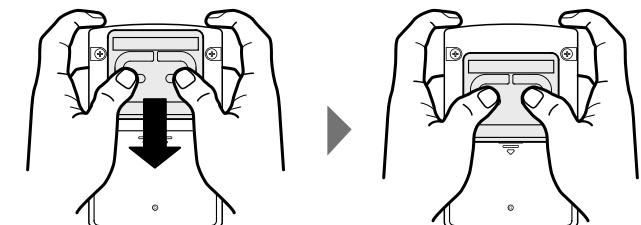
- ①本体操作部の便ふた自動開閉スイッチが「入」になっていることを確認する
- ②便ふたを閉じ、一旦トイレから外に出る
- ③1~2分以上経過後、トイレに入り、便ふたが開くことを確認する

お知らせ

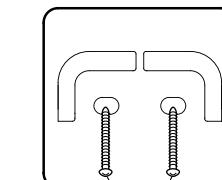
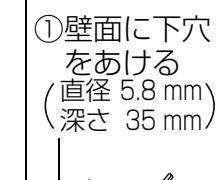
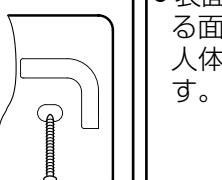
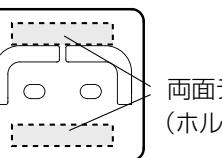
- ・人体センサーが人を検知すると、本体から「ピッ」と音がします。

④ 人体センサーholdeRを壁面に取り付ける

- ①人体センサーからholdeRを外す
 - ・holdeR下を指で押さえながら下方向にずらして外す

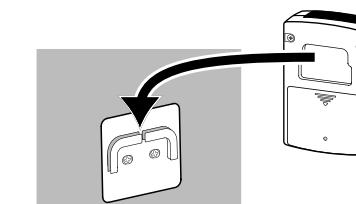


② holdeRを壁面に取り付ける

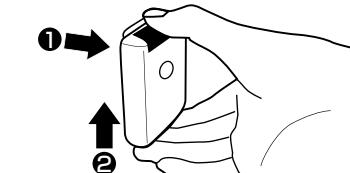
A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材	ツルツルで固い平らな壁材(タイル)
<ul style="list-style-type: none">・各種合板・ビニールクロスなど	<ul style="list-style-type: none">・タイル・コンクリート・石こうボードなど <p>「注意」※1</p>	<ul style="list-style-type: none">・壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。・表面がザラザラした壁面や凹凸がある面(クロスなど)に取り付けると人体センサーが落ちる場合があります。
 ・ねじ2本で壁面に取り付ける	 ①壁面に下穴をあける(直径5.8 mm) ②樹脂プラグを差し込む  ねじ	 両面テープ(ホルダー裏面)

※1 石こうボードの厚みは13 mm以上を想定しています。13 mm以下の石こうボードでは同梱の樹脂プラグでは安定しない場合があります。市販の石こうボード用プラグをお買い求めください。

③ 人体センサー裏面の溝をholdeR凸部に合わせて上から差し込む



④ 人体センサーが取り外せることを確認する(電池交換が必要なため)



人体センサーの上部を手前に引きながら上に引き上げる

試運転

1 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認する

(十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります)

給水接続部から水漏れないことを確認する

2 本体梱包用のポリ袋などを便座と便器の間にはさむ

(水の飛び散り防止のため)

3 電源プラグが差し込まれていることを確認する

4 漏電テストスイッチを2秒以上押す

漏電検知機能が作動し、電源が切れます。

- 漏電テス特朗プ（赤）点灯。
- 電源ランプ（緑）消灯。

5 電源プラグを抜く

•漏電テス特朗プ（赤）が消灯することを確認する。

6 電源プラグを差す

- 電源ランプが約10秒間点滅後、点灯に換わります。

7 便座の左後部を押しながら（着座ランプ点灯）

リモコンの または を押す

•着座検知し、脱臭が始まります。
(作動音がします)

- ノズルを洗浄し、約10~20秒後に洗浄水が出ます。（着座検知していないと「ピピピ」と音がし、洗浄水が出ません）

*止水栓を閉じたまま手順7を行うと、洗浄水が出ず、ノズルが戻ります。止水栓を十分開いてから手順7を行ってください。

- ポリ袋の上から手を当て温水ができる事を確認してください。

(温水が出ない場合は、温水温度スイッチで設定温度を切り換えてください)

8 リモコンの を押す

- ノズルが戻ってから、ノズルを洗浄する水が出ます。
- 便座の左後部から手を離すと、約1分後に脱臭が停止します。

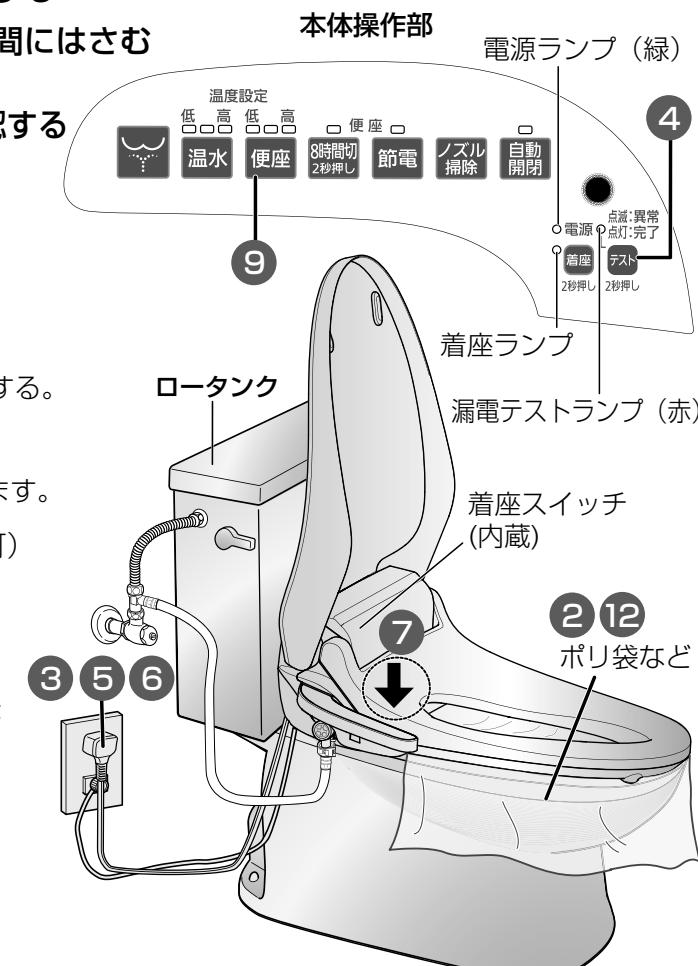
9 便座温度が設定されることを確認し、約5分待つ

10 便座を手で触り、あたたかくなっていることを確認する

11 取扱説明書に従って、おしり・ビデ洗浄など機能の確認をする

12 ポリ袋を外す

- お知らせ**
- 漏電テス特朗プが点滅する場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、工事店または販売店へ連絡してください。
 - 便ふたや便座の上から押さえると、着座ランプが点灯し、脱臭が始まります。
また、その状態で洗浄スイッチを押した場合、洗浄水が出ます。



水圧調整の逃がし水について

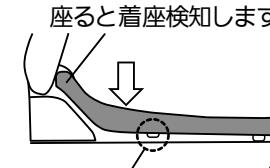
- ノズルの左(逃がし水口)から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。



- 逃がし水口が便器面でふさがったとき、水が便器内に流れないとあります。この場合は、本体を少し前に引き出して取り付け直してください。（12ページ）



着座検知について



便座の後ろ脚と、前の片側の脚が浮いている状態が正常です。
この浮き（隙間）がないと座ったときに着座検知しません。

こんなときは

現象

考えられる原因と処置方法

参照ページ

本体操作部の温水温度ランプが全点滅する

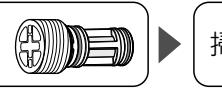


- 水道の元栓、止水栓が十分に開いていない
- 止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込んだ

水道の元栓、止水栓を十分に開き、電源プラグを差し直し、その後、再度試運転を行う

18

洗浄水が出ない
洗浄強さが弱い



- 水道水フィルターがつまっている

掃除する

取扱説明書

10

ロータンクの水が入らない、止まらない



- ロータンク内の浮子がゆがんでいる

浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す

11

手洗いボールから水はねする



- 水圧が高く給水量が多い

止水栓を適量に絞る

14

通水音（シュー）がする



- 通水音（シュー）がする

浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す

11

接続部から水漏れする



- 給水ホース先端のOリングにゴミが付着

Oリングのゴミを取り除く

13

ナットの締め付け力が不足



- ナットの締め付け力が不足

増し締める

—

締め過ぎによるパッキンなどのずれ



- 締め過ぎによるパッキンなどのずれ

ずれをなくす

11

電源が入らない



- 電源が入らない

確実に固定する

13

テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（本体の漏電テストランプが点灯）



- テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（本体の漏電テストランプが点灯）

電源プラグを抜き漏電テス特朗プが消灯してから電源プラグを差し込む

18

人体センサーが検知しない



- 人がいても体の動きがない

•体を動かしてください
(センサーは熱の変化を検知する)

16~17

電池の入れ忘れ



- 電池の入れ忘れ

電池を入れる

—

天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する

取扱説明書の「ご相談窓口」にご連絡ください

設置後の注意

凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照）